令和５年度(令和４年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	5-7
PDCA	主要事業名	市民交流センター管理運営事業	部課名	企画部市民協働課	担当	冨安
					内線	32-3430

P 総合計画との関係性と予算根拠

総合計画： 5 － 1 － 3 単位施策： 市民活動

全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 156,414 千円

会計 一般会計 歳出科目： 02.01.11.02.01

事業概要等

事業概要：	ボランティア、市民活動の総合窓口である「はんだまちづくりひろば」と駅前という好立地を活かした貸館の「市民交流プラザ」、地域全体で子育てを支援する拠点としての「子育て支援センター」などの総合施設として、市民から親しまれ、活気あるまちづくりの拠点を目指す。
事業目的：	ボランティア、市民活動の情報発信・交流の場としての機能を充実し、市民活動団体等の市民活動支援センターの活用を推進する。
事業内容：	知多半田駅前の好立地を活かし、市民活動の情報発信や交流の場としての機能を充実し、活気ある市民交流の拠点を目指す。
問題点・課題等：	経年劣化により、空調機器やロールカーテンなどの設備の故障の頻度が多くなっているため、予期せぬ設備の不具合に備える必要がある。

予算額 156,414 千円

財源内訳

市費 36,085 千円

国費 0 千円

県費 0 千円

その他 120,329 千円

主要事業とする理由

知多半田駅前の好立地を活かし、市民の交流拠点として、適正な施設管理及び利便性向上に向けた機能の充実を図るため。

得られる成果

市民交流センターの設備や利便性が向上し、情報発信・交流の場としての機能が充実することで、市民活動団体の活動のさらなる活性化につながる。

目標値や目指すべき状態		令和２年度	令和３年度	令和４年度	単位
市民交流センター内貸室利用率	実績値	46.3	46.7	—	%
	目標値	65.0	65.0	65.0	%
	実績値				
	目標値				
	実績値				
	目標値				

予算見積書で活用

目標項目（予算計上時に作成）

D 得られた成果と実績値

決算額 69,799 千円

得られた成果

貸室利用について、はんだ市報やはんだまちづくりひろば登録団体に再度周知するなどの広報に努めた結果、貸室利用率の目標達成には至らなかったものの、コロナ感染症対策の緩和もあり前年度比で10ポイントの上昇となった。

成果指標		令和４年度	単位
市民交流センター内貸室利用率	実績値	56.7	%
	目標値	65.0	%

C 課題の整理

C

事業の評価・課題

コロナ感染症対策の緩和に伴い市民交流スペースの利用方法を見直し、市民活動・交流の場としての機能を果たした。また、単色印刷機を刷新し、市民活動の刊行物発行における利便性の向上を図ることができた。施設竣工から約16年経過し、経年劣化によって施設に不具合が発生している箇所が見受けられるため、安全性の面から早期発見・修繕に留意し定期点検に努める必要がある。

A 課題解決に向けた今後の方向性

改善推進

今後の事業の方向性

市民交流スペースについてはコロナ禍の状況等を鑑み、随時運用方法を見直し、市民活動の情報発信の場としての機能を充実させ、市民が団体活動を知る機会を創出する。また、デジタルサイネージでは静止画だけではなく視認率が高い動画を映していくことにより情報発信を強化し、活気あるまちづくりの拠点とする。

観点別評価

必要性		有効性		効率性	
①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある ※対象・手段の変更
②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		
③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ある

主要施策の成果報告書で活用

評価項目（決算時に作成）